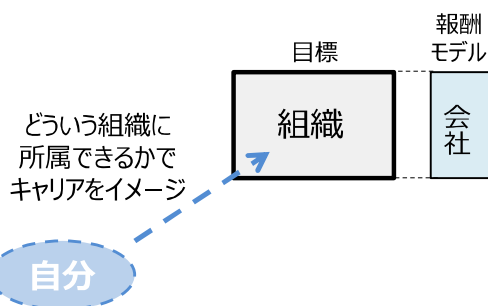


これまで



如何に効率的に
登る(=合格する)
ことができるか

＜キャリア形成イメージ＞

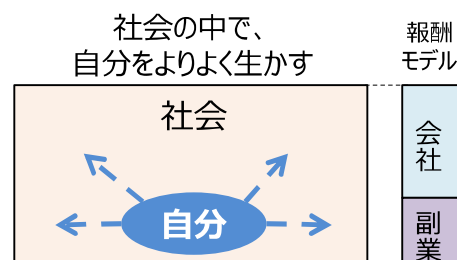


これから



どんな登り方をし、その過程で
得られた経験や力を
次にどう活かすか

＜キャリア形成イメージ＞



© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



新たな時代に必要となる資質・能力の育成



学力の3要素

大学入学共通テスト

思考力・判断力・表現力
を測る問題の出題
記述共通テストでの
導入見送り

英語の資格・検定試験

従来の「読む」「聞く」に加え
大学入試英語成績提供
システムの導入見送り

多面的・総合的評価入試

高校3年間の活動履歴
や資格等も評価対象に



© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



進研模試では新しく、思考力・判断力・表現力を問う問題を時期に応じて部分的に出題しています

進研模試 改訂 モデル問題 【高1 数学】

[2] 不等式 $\sqrt{3}x - 12 > 2x - 8\sqrt{3}$ を次のように解いたが、この式変形には間違いがある。どの部分の式変形が間違いかを ①～④ の番号で1つ以上答え、間違っている理由も述べよ。

$$\begin{array}{l}
 \sqrt{3}x - 12 > 2x - 8\sqrt{3} \\
 \downarrow \textcircled{1} \\
 (\sqrt{3} - 2)x > 12 - 8\sqrt{3} \\
 \downarrow \textcircled{2} \\
 x > \frac{4(3 - 2\sqrt{3})}{\sqrt{3} - 2} \\
 \downarrow \textcircled{3} \\
 x > \frac{4\sqrt{3}(\sqrt{3} - 2)}{\sqrt{3} - 2} \\
 \downarrow \textcircled{4} \\
 x > 4\sqrt{3}
 \end{array}$$

これまでも求めていた力

不等式の数学的性質に着目し場合を分けて考える力
1次不等式を正確に解く力

加えて、これから求めたい力

答案例を読み解いて、他者の数学的表現を理解する力
なぜ間違っているのか、自分の意見を表現する力



© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



評価方法			大学例
1	合 否 判 定 に 活 用	面接等を実施。 その中で参考資料として活用するなど	愛媛大、長崎大など
2		調査書等を得点化して 合否判定に活用	筑波大など
3		段階的な選抜の中で 調査書等を活用	徳島大、佐賀大など
4	合 否 判 定 に 活 用 し な い	受験生が主体性等の 経験を記入。 合否判定には活用しない	早稲田大、慶應義塾大、西南学院大など
5		調査書を入学後の指導で 参考資料として活用 することがあるが、合否判定では活用しない	立命館大、関西大、近畿大、福岡大など



© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.



長崎大学 2021年度入試 ペーパーインタビュー サンプル問題

これまで、**やらなくてはならないことが多くて、とても忙しいと感じた時**のことを思い出してください。

それはどのようなことでしたか。**以下の点を踏まえながら**、できるだけ詳しく具体的に説明してください。複数思いつく人は、最も大変だったと思う出来事について回答してください。

- ・いつの頃のことだったか、やらなくていけないこととは何だったのか、それはどのくらい重要なことだったのか、なぜそのような状況になったのか。
- ・とても忙しい状況を**どのようにして切り抜けようとしたか**、またどのような行動をとったか。
- ・その状況を切り抜けるにあたって**気をつけたことは何か**、具体的にはどのようなことをしたか。
- ・何か困難にぶつかったか。その**困難にどう対処**したか。困難にぶつからなかった場合、**なぜ困難にぶつからなかったと思うか**。
- ・最終的な結果に**納得しているか**。どのような点で納得しているのか。
- ・**今後、同じような状況になったとき**、どのように対処しようと思うか。

大学資料より

新入試 理解度チェック表① 高大接続改革／共通テストの導入

	チェック	項目	資料確認先 (検索キーワード)
高大接続改革		高大接続改革とは、「高校教育」「大学入学選抜」「大学教育」の一体的改革である	文部科学省 「高大接続改革の必要性」 文部科学省
		学力の3要素とは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「 主体性 を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」である	「高大接続改革の実施方針等の策定について（平成29年7月13日）」→「大学入学選抜改革について」 「令和3年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」（2019年6月4日） 及び 「令和3年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」（2019年6月7日） 「英語民間試験についての大臣メッセージ」（2019年11月1日） 及び 「大学入試英語成績提供システムの導入延期に伴う令和3年度大学入学選抜大学入学共通テストの出題方法等について」（2019年11月15日） 及び 2019年12月17日萩生田大臣記者会見
共通テストの導入		大学入試センター試験にかわって、2021年度入試（現高2生が受験）より「 大学入学共通テスト 」（以下、共通テスト）が導入される	
		共通テストでは、 記述式問題 および「 大学入試英語成績提供システム 」の導入は 見送られた 。記述式問題は個別試験での活用を各大学に要請。英語は、「 新たな英語試験 」を2025年度入試にて導入を予定	
		共通テストの実施日は 2021年1月16日（土）、17日（日） で、 出題教科・科目は現行のセンター試験と同じである	
		「国語」について、「一括して成績提供を原則」とする検討がされていたが、大問別得点は参考情報として提供されるようになった（「 近代以降の文章 」は引き続き指定可能）	
		2021年度入試について、共通テストの 英語筆記は「リーディング」（読むこと）として実施 。リスニングは1回読みと2回読みが混在。配点は「 リーディング 」と「 リスニング 」で均等（各100点）。	

新入試 理解度チェック表② 共通テストの導入／記述式問題

14

	チェック	項目	資料確認先 (検索キーワード)
共通テストの導入		「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」については、資格・検定試験の活用はなし。引き続き「筆記」として実施	「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」(2019年6月7日)
		「当てはまる選択肢を全て選択する問題」は、共通テスト導入当初から実施することは困難とされた。一方、連動型の問題は出題する場合があるとされた	
		各科目について、9段階の段階別成績表示を参考情報として併記。共通テスト終了後に得点換算表等をwebで提供予定	
		過年度卒業者用の別の問題は作成しない	
主体性等評価		私立大の一般選抜では、早稲田大や慶應義塾大などは「主体性」などの経験を生徒が記入→得点化(合否判定に利用)しないといった方針が、関西大や立命館大などは調査書の記載内容などを合否判定に活用しないといった方針が公表されている	各大学のホームページ
		文部科学省「平成31年度大学入学者選抜改革推進委託事業」では電子調査を活用した評価モデルの検討がされており、2020年度入試、2021年度入試で実証事業を行い、2023年度入試から電子調査書の全国利用で計画されている。事業は学校法人関西学院が受託(代表校)。佐賀大、同志社大、埼玉県教委、京都府教委と連携。	文部科学省 「平成31年度大学入学者選抜改革推進委託事業実施要領」より (2019年1月25日)

新入試 理解度チェック表③ 入試の新ルール

15

	チェック	項目	資料確認先 (検索キーワード)
入試の新ルール		入試区分の名称は、「AO入試→総合型選抜」「推薦入試→学校推薦型選抜」「一般入試→一般選抜」に変更される	文部科学省 「高大接続改革の実施方針等の策定について(平成29年7月13日)」→「大学入学者選抜改革について」の中の「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」
		全ての入試区分において、学力の3要素を多面的・総合的に評価することが求められている(「トータル」ではなく「各選抜区分」ごと)	
		総合型選抜について、出願は9月以降(現行8月)、合格発表は11月以降とされた(出願開始～合格発表開始まで2か月ある)	
		学校推薦型選抜について、出願は11月以降(現行通り)、合格発表は12月以降とされた	
		教科・科目に係るテスト実施時期は、「2月1日～3月25日まで」(現行「2月1日～4月15日まで」)、合格発表は3月31日まで(現行4月20日)	
		募集人員について、学校推薦型は「入学定員の5割を越えない範囲」(大学)で変更ないが、総合型選抜は制限を設けないとされた	
		12月以前に入学手続きをとった者に対しては、入学前教育を「積極的に講ずる」ことを実施要項に盛り込むとされた	
		調査書について、「両面1枚の制限を撤廃」「『評定平均値』の呼称を『学習成績の状況』に改める」などの改善案が示された	